

PFOS・PFOA 検査

Information

PFOS、PFOAに係る科学的知見の集積並びに国際的な動向を踏まえ、わが国でも各種検討が進められています。

国内外で将来的な環境・人へのリスク懸念

有機フッ素化合物であるPFOSとPFOAは、コーティング剤や撥水剤など過去にさまざまな用途で使われてきた一方、環境への残留性や蓄積性、また、一部では発がん性などヒトへの毒性が指摘されています。

水道法では「水質管理目標設定項目^{※1}」に位置づけられており、水質汚濁防止法においても「指定物質^{※2}」に追加されるなど、関心が高まっています。

弊社では、PFOSおよびPFOAの分析を受託しております。ぜひご利用ください。

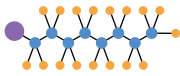
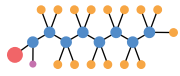
※1 水道水中での検出の可能性があるので、水質管理上留意すべき項目

※2 公共用水域に多量に排出されることにより人の健康 若しくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質



◆PFOS・PFOAとは

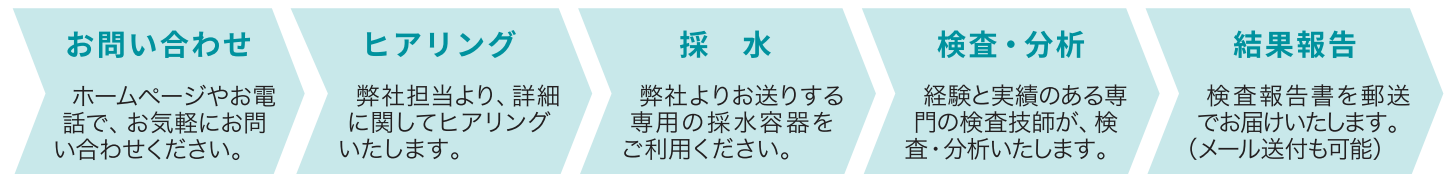
〈参考資料〉 環境省「PFOS・PFOAに係る水質の目標値等の専門家会議(第3回)」資料1-1

	PFOS (ペルフルオロオクタンスルホン酸)	PFOA (ペルフルオロオクタン酸)
主な用途	半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、泡消火剤など 	フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤など 
人体への影響	国際がん研究機関(IARC)が「ヒトに対して発がん性がある可能性がある」に分類(2023年) ※PFOS・PFOAは発がん性の他、ヒトにおいてコレステロールの上昇、免疫系との関連が報告されています。しかし、どの程度の量が体に入ると影響が出るのかについては未だ確定的な知見はありません。	国際がん研究機関(IARC)が「ヒトに対して発がん性がある」に分類(2023年)
国内の規制	製造および輸入・使用を禁止(2010年)	製造および輸入・使用を禁止(2021年)
国内の水道水暫定目標値	PFOS、PFOAの合算値で50ng/L以下 (井戸水についても暫定目標値は水道水と同様)	

◆測定項目

検査項目	対象	所要日数	料金(税抜)
PFOS・PFOAセット ・PFOSおよびPFOA・PFOS・PFOA	・飲料水・ミネラルウォーターなど ※排水・下水・河川水についてはご相談ください。	10営業日	35,000円

◆検査の流れ



厚生労働省登録検査機関(食品衛生法・水道法)

CRC食品環境衛生研究所

〒813-0062 福岡市東区松島5-7-6
TEL 092-623-2211 FAX 092-623-2212

佐賀営業所 〒840-0023 佐賀市本庄町袋131-16 TEL 0952-27-0831
長崎営業所 〒852-8002 長崎市弁天町1-21 TEL 095-864-7027
諫早営業所 〒859-0405 諫早市多良見町中里129-9 TEL 0957-28-5031
鹿児島営業所 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町6-2 TEL 099-253-2867



食品関連検査

食品微生物検査・商品抜き取り検査・食品期限設定検査・栄養成分分析・味覚分析・食物アレルギー検査・食品添加物検査・残留農薬検査・異物検査 など

衛生関連検査

衛生調査・腸内細菌検査・施設関連の微生物検査・ノロウイルス検査・ノロウイルスふきとり検査 など

水質関連検査

飲料水検査・ビル管理法水質検査・水道法20条検査・プール水検査・浴槽水検査
濃度計量証明(下水・排水・河川など)・ゴルフ場農業検査

環境関連検査

ばい煙測定・ダイオキシン類測定・室内空気環境測定・温泉分析・作業環境測定(ホルムアルデヒド・エチレンオキシド・有機溶剤) など